

コンセプト1

まちと一体となった 美術館



新生美術館

Renewal Concept

リニューアルコンセプト

「本物」のアートと出会い、そこで出会った者同士が新たな活動へと発展する。
こうしたアートを軸とした新たなコミュニティが創られる、「練馬ならではの」美術館を目指します。



コンセプト1

まちと一体となった 美術館

美術の森緑地と商店街・駅へ続く動線を一体的な景観として演出し、駅を降りたら『美術館のある街 中村橋』を創出します。町会・自治会、商店会など区民による地域に根ざした活動や、学校、企業等との連携・協働により、中村橋駅周辺のエリア全体が文化芸術の拠点となるよう整備します。

駅や商店街等と相互連携した取組を行い、地域のまちづくりにつなげる

駅や商店街等と連携して、駅前広場、道路、商店街など、駅からの動線にアートを感じられるような街並みの整備や取組を実施します。

《具体的な取組例》

- ・駅構内での美術館案内やアート作品の展示
- ・駅から美術館へ続く道路や壁面などの動線整備
- ・公共空間にアート作品を設置
- ・企画展と連携した商店街イベントの実施
- ・商店会等と協働し「ウインドウアート※」活動などを展開 ※商店の窓などを活用してアート作品を装飾すること



中村橋駅前ひろば



美術館と美術の森緑地を一体化し、誰もがアートに親しみながら、憩い、集い、つながるパブリックスペースを創る

美術の森緑地は、「まち」と美術館が一体空間となるパブリックスペースとします。

《具体的な取組例》

- ・誰もが自由に利用できる開放的なエントランス空間の整備
- ・屋外イベントが実施できるパブリックスペースの整備

アーティスト・イン・レジデンスを展開する

区内のアトリエの活用や商店街との連携により、アーティスト・イン・レジデンス※を展開し、若手アーティストや練馬ゆかりのアーティストに、創作活動や発表の場を提供します。

《具体的な取組例》

- ・区内アトリエなどを活用し、アーティスト・イン・レジデンスを実施
- ・完成した作品を美術館や商店街、公共空間などで披露



(参考画像：黄金町アーティスト・イン・レジデンスプログラム)

※アーティストが一定期間ある土地に滞在し、作品制作やリサーチ活動を行い、それを支援する事業。



都内でも珍しい「美術館のある街の商店街」なので、話題になるような素晴らしい美術館をつかって欲しいですね。店頭で美術作品を置いたりして、美術館と一緒にまち全体を盛り上げていきたいです。

江村 健二さん
サンツ中村橋商店街振興組合 理事長



地域の美術館として、誰でも気軽にに行ける交流の場になって欲しいですね。美術館と一体となった街並みが話題になって、「練馬区といえば中村橋」と言われるくらい、様々な人が来てくれると嬉しいです。

関口 登美雄さん
練馬区貫井町会長

展示室を拡張し、より質の高い企画展を開催する

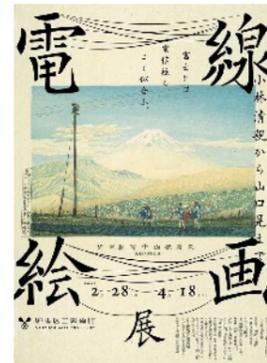
海外の美術館との交流による大規模な企画展や、これまでの活動を活かし、日本の近現代のアートを中心とした独創的な展覧会を開催します。

《具体的な取組例》

- ・展示室の拡張と機能を強化し、大規模な企画展を展開
- ・日本の近現代のアートを中心とした独創的な展覧会を開催
- ・外部研究者などを招へいた共同研究による成果を展示



ラリック・エレガンス（平成31年）



電線絵画展（令和3年）

近現代のアートを中心とした収蔵コレクションによる、新たな魅力を発信する

練馬ゆかりの作品や近現代のアートを中心とした収蔵コレクションを活用し、著名な作品などを常時鑑賞できるようにします。

《具体的な取組例》

- ・収蔵コレクションを活用した常設企画展の展開
- ・練馬ゆかりの作品や近現代のアートを中心とする作品を体系的に収集し、収蔵コレクションを充実
- ・文化芸術振興基金やクラウドファンディングを活用し、著名な作品を収集・展示



加藤 陽介
練馬区立美術館 主席学芸員

近年は展覧会が多彩になったこともあり、フランス近代版画や浮世絵などコレクションの幅も広がってきています。令和3年11月開催の小林清親展には、100年近く世に出ていない作品も展示されました。こうした貴重な作品があることも発信していきたいですね。



コンセプト2

本物のアートに出会える美術館

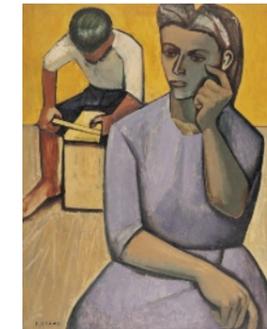
著名な作品や重要文化財をはじめ、独創的な企画により、「本物」のアートに出会える機会を提供します。7,000点を超える収蔵コレクションをはじめ、著名な作品などを常時鑑賞できるようにし、新たに映像文化や現代アートなどの多彩な企画を展開します。

笠井誠一展（平成30年）

《7,000点を超える多彩なコレクションの一例》



松岡映丘『さつきまつ浜村』



大沢昌助『仕事場』



巖光『花と蝶』

重要文化財などが展示できるようにし、展覧会の魅力を高める

国宝や重要文化財の展示に適した環境を整備し、貴重な作品を鑑賞できるようにします。

《具体的な取組例》

- ・国宝や重要文化財などを展示できるようにするため、文化庁の公開承認施設を目指す



重要文化財の展示が可能な環境（一例・アーティゾン美術館）

映像作品や現代アートなど、多様な作品を展示する

区内にある貴重な映画・アニメなどの映像資源や現代アートなど、多様な作品の展示できるようにします。

《具体的な取組例》

- ・映像文化に関わる企画展の開催
- ・日本の近現代の美術をはじめ、現代アート、オール・ブリュットなど、多様な作品に対応できる展示室の整備
- ・映像文化に関わる企画にも対応できる ICT 機器のための配線設備等の整備



自由度の高い展示室（一例）
（岩手県立美術館）

誰もが気軽に鑑賞できる環境をつくる

乳幼児から高齢者、障害者など誰もが鑑賞しやすい環境をつくります。

《具体的な取組例》

- ・美術館専用エレベータの新設、誰でもトイレ、授乳室の拡充、段差の解消、音声案内、サイン表示の工夫等
- ・専門的な内容を分かりやすく解説
- ・子どもを預けて鑑賞できるスペースの整備



バリアフリーの展示室（一例・©ポーラ美術館）

新美術館と未来の芸術家に期待

野見山 暁治
(のみやま ぎょうじ)

大正9年生まれ。日本の現代洋画界を代表する画家。昭和27年に渡仏。「日本国際美術展」に出品するなど意欲的に活動し、昭和39年に帰国。昭和47年に東京藝術大学教授となる。平成15年に東京国立近代美術館で展覧会が開催されるなど、現在も日本美術界において大きな存在感を示している。平成12年に文化功労者に選ばれ、26年には文化勲章を受章。



(撮影：川津英夫)

～野見山 暁治さん（画家・練馬区名誉区民）～

私は、昭和46年に練馬区内に自宅兼アトリエを構え、創作活動に取り組んでいます。

練馬区立美術館では、平成8年に「野見山暁治展」という回顧展、平成28年には、練馬区の名誉区民としていただいた時に、練馬区立美術館が収蔵している私の作品を中心に、展覧会を開いていただきました。

リニューアル後の美術館には大きな展覧会に加えて、小規模な展覧会にも期待しています。また、講演会や未来の芸術家たちへの実習的なことができると面白いですね。将来的には私の自宅兼アトリエも有効に活用していただきたいと思っています。



『ある日』（練馬区立美術館所蔵）

野見山さんが創作活動を行っている練馬区内のアトリエ。
建築家 篠原一男設計。通称『海の階段』。



子どもも大人も楽しめ、本物のアートにふれられる美術館に

～奥田 小由女さん（人形作家・公益社団法人 日展 理事長）～

奥田 小由女
(おくだ きゆめ)

昭和11年生まれ。日本を代表する人形作家。平成20年に文化功労者に選ばれ、令和2年に人形作家としては初の文化勲章を受章。夫で日本画家の奥田元宋氏とともに日本で初めて夫婦揃っての受賞となった。平成26年7月に日展理事長に就任。他にも現代工芸美術家協会理事長などの要職にある。練馬区在住。



23区でも美術館があるところは少ないですが、練馬区立美術館は、いつも質の高い展覧会をしていて、知名度も高いです。しかも駅から近く、交通の便もいいので、すぐ行くことができます。建築も含めて美術館が新しくなるだけでもワクワクしますし、美術館と一体となった街になっていくのも楽しみです。

現在も子どもが楽しめるような工夫などをされていますが、これからも子どもも大人も皆が楽しみながら本当に良いもの、「本物のアート」を鑑賞できる場所になるといいですね。新しく、素敵な美術館が再整備されて、美術館を中心に文化・芸術で輝くエリアが練馬区にあふれることを心待ちにしています。

“映像∞文化のまち ねりま”

練馬区には、昔から映画の撮影所、アニメ会社や映像に関連した会社が多くあり、名作と呼ばれる作品が数多く生み出されてきました。

創立百周年を迎えた日本大学芸術学部は、映画、映像制作に寄与した数多くの人材を輩出しています。

作家、監督、脚本家、俳優、漫画家といった映像関係者も多数、在住しています。

多彩な映像資源を活かし、みどり豊かな住宅都市の暮らしを文化で更に豊かにすることを目指して、区は『映像∞文化のまち構想』を策定しました。



東映東京撮影所（正門）

映像には、映画、アニメ、テレビ映像をはじめ、様々なメディアや形態があります。

それらにかかわる文学や美術、音楽、写真、デザイン、ポスター、作家・監督・漫画家などの作り手、作品を楽しむ観客なども含め、映像を文化の視点から幅広くとらえています。

映像∞文化のまち構想では、再整備後の美術館も新たな映像文化の発信拠点としています。

ワーナーブラザースによる「スタジオオツア-東京・メイキング・オブ ハリー・ポッター」が、令和5年（2023年）前半に遊園地「としまえん」跡地にオープンします。

スタジオオツア-東京は、ロンドンに次ぐ世界で2番目（アジアで初）の施設であり、同じく「としまえん」跡地に東京都が整備する練馬城址公園と合わせ、練馬の魅力を高める新たなにぎわいの拠点になります。

美術館と練馬城址公園がつながる都市計画道路の整備も予定されており、各拠点を結ぶ取組も検討していきます。



ワーナー ブラザース スタジオオツア-東京・メイキング・オブ ハリー・ポッター イメージ図
『Wizarding World』 and all related names, characters and indicia are trademarks of and © Warner Bros. Entertainment Inc. - Wizarding World publishing rights © J.K. Rowling. 』



ねりま映画サロン（令和3年3月配信：左から佐久間良子さん、毒蝋三太夫さん）

区では映像∞文化を発信する取組として、区ゆかりの俳優が語る「ねりま映画サロン」の配信などを行っています。

今後も映像∞文化のまち構想に基づき、情報発信やイベントを実施していきます。

併設の図書館と融合する 美術館

“知”の拠点である併設した貫井図書館と“感性”を磨く場である美術館が機能的・空間的に融合することで、互いの強みを活かした相乗効果を生み出します。

練馬区立貫井図書館

図書館と空間的融合を図り、相互に楽しめる機会を創出する

エントランスから美術館・図書館の切れ目ない空間的融合を図り、図書館を訪れた人がアートに触れ、美術館を訪れた人がゆっくりと美術図書等を楽しめる空間を整備します。

《具体的な取組例》

- ・カフェ、ミュージアムショップ、開架図書のスペースなどが一体となったエントランス空間の整備
- ・エントランスなどの共用スペースで鑑賞できるアート作品を常設
- ・館内共用スペースならどこでも自由に本が読める環境の整備
- ・子どもの頃からアートや本に自然に親しめるブック・アート・キッズスペースの整備

“ブック・アート・キッズスペースのイメージ”

子どもたちが絵本などを読む従来の児童図書スペースに、自由にお絵描きや工作ができるなど、アートの要素を追加。
わくわくする体験が待っています。



千葉市美術館 びじゅつライブラリー



自由にお絵描きができる黒板



武雄市こども図書館

図書館と機能的融合を図り、さらに広がりを持った情報を発信する

互いの情報を機能的に共有することで、さらに広がりや奥行きを持った情報の発信やサービスの提供など、相乗効果を生み出します。

《具体的な取組例》

- ・美術館と貫井図書館のライブラリーを一体化し、アート分野の蔵書を充実
- ・美術分野に関するレファレンスの充実
- ・美術図書、作品の画像データ、収蔵資料目録、研究紀要、収蔵コレクションなどアーカイブの拡充
- ・美術館や図書館活動のドキュメンテーション（記録）の蓄積・共有・発信



地域資料（中村の昔）



和装本（善悪道中記）

貫井図書館のデジタルアーカイブ（一例）



普段は美術館に行く前に図書館に寄ったりしています。小さな子どもがいるので、絵本を読んだり工作したりできるスペースはいいですね。その間に子どもを預けて美術館で鑑賞できれば親子で楽しめます。

須藤 麻世さん
練馬区立美術館運営協議会 公募委員

エントランスホールのイメージ（一例）



開放的なエントランスのイメージ（海老名市立中央図書館）

開架図書のある開放的なエントランス空間に美術作品の常設、カフェを併設し、にぎわいのある融合空間を実現。